

札幌ふすま会

ふすま同窓会札幌支部

平成31年3月発行

会報

第10号

札幌ふすま会平成最後の新年会



敬称略・カッコ内は学部、学科、卒業年

- 一列目左から 磯部勝彦(農学 52)、杉本弘(工学 56 修)、星 寿次(教育 35)、大沼一男・山形大学校友会事務局長、藤田俊雄(経済 34)、越智昭子(師範 25)、土屋愛子(教育 32)、石田栄子(英文 37)、安井イミ子(教育 34)、
- 二列目左から 五十嵐郁夫(経済 39)、鈴木 努(経済 37)、小棚木順一(経済 37)、宮間利一(法律 42)、佐々木亘作(経済 37)、山田郁子育 36)、蜂谷カツヨ(教育 36)、斎藤圭造(経済 35)、
- 三列目左から 島田良廣(経済 42)、成瀬文保(経済 36)、横田学(農学 36)、大塚 彰(化学 44)、福島 豊(経済 43)、安藤むつみ(教育 48)、高本光蔵(法律 45)、石神全基(経済 47)、木内健司(経済 40)、
- 四列目左から 畠山義章(法律 60)、伊藤克己(工学 56)、堀野史夫(独文 51)、小崎和男(経済 41)、志貴正美(工学 43)、丸山恵和(経済 40)、景山與一(農学 39)、大沼広行(農学 58)、
- 右上4角内は所用で撮影に遅れた中本利明(経済 43)

《目次》

- | | |
|---|-------------------|
| 1面 平成最後の新年会 | 4面 仙台からの便り、星寿次さん達 |
| 2面 各学部からのご来賓 15名を含め 35名出席
来賓祝辞と乾杯の音頭 | 5面 石黒忠夫先輩を悼む |
| 3面 四学部交流の機会今後も増やそう | 6面 総会案内・編集後記 |

各学部からのご来賓 15名含め 35名出席

ご来賓

山形大学校友会

大沼 一男(教育 s51) 校友会事務局長

米沢工業会北海道支部

杉本 弘(工学 s56 修) 支部長

伊藤 克己(工学 s56) 副支部長

志貴 正美(工学 s43)

鶴窓会北海道支部

磯部 勝彦(農学 s52) 支部代議員

横田 学(農学 s36)

景山 與一(農学 s39)

大沼 広行(農学 s58)

教育学部同窓会札幌支部

越智 昭子(師範 s25) 副支部長

土屋 愛(教育 s32)

星 寿次(教育 s35)

安井イミ子(教育 s34)

蜂谷カツヨ(教育 s36)

山田 郁子(教育 s36)

安藤むつみ(教育 s48)

札幌ふすま会

藤田 俊雄(経済 s34)

斎藤 圭造(経済 s35)

成瀬 文保(経済 s36)

石田 栄子(英文 s37)

小棚木順一(経済 s37)

佐々木亘作(経済 s37)

鈴木 努(経済 s37)

五十嵐郁夫(経済 s39)

木内 健司(経済 s40)

丸山 俊明(経済 s40)

小崎 和男(経済 s41)

島田 良廣(経済 s42)

宮間 利一(法律 s42)

中本 利明(経済 s43)

福島 豊(経済 s43)

大塚 彰(化学 s44)

高本 光蔵(法律 s45)

石神 全基(経済 s47)

堀野 史夫(独文 s51)

畠山 義章(法律 s60)



山大 大沼 一男氏



旧師範 越智 昭子さん



米沢工業会 杉本 弘氏



鶴窓会 磯部 勝彦氏

四学部交流の機会今後も増やそう

平成 31 年 1 月 26 日(土)に、恒例の札幌ふすま会新年会がすみれホテルにおいて開催されました。

今回の新年会には米沢工業会(工学)から 3 名、鶴窓会(農学)から 4 名、教育学部同窓会から 7 名、ふすま会から 20 名が参加し、更に大学から 1 名参加の総勢 35 名で、山形大学の合同同窓会として賑やかに開催されました。

平成 8 年にも(3 年続いた)今回と同じような同窓会が実施されており実に 23 年ぶりに合同同窓会として復活開催となりました。

出席者全員で記念撮影を行った後、ふすま会藤田会長挨拶があり、次いで米沢工業会の杉本支部長のご挨拶、教育学部同窓会札幌支部の越智昭子(S25 師範)副支部長の音頭で乾杯し、懇談に入りました。

今回は、校友会から大沼事務局長が初めてご参加、「校友会の概要、山形大学や地域教

育文化学部(旧教育学部)の概況等」について、沢山のお話を頂きました。

その後は山形のことや学生時代のこと、趣味、健康のことなどテーブルごとに旧交を温め、和気あいあいの中で楽しい懇談のひと時を過ごしました。

次いで、星 寿次(特音)さんのリードで出席者全員による山形県民の歌、山形大学学生歌「みどり樹に」(昭和 33 年制定)を斉唱、引き続き斎藤副会長の音頭で大正 12 年全寮寮歌「嗚呼乾坤の」を声高らかに歌えあげました。

新年会の締めは鶴窓会の磯部代議員のご挨拶、そして斎藤圭造副会長からは「山形大学の卒業生は固い絆で結ばれている。今回のような合同での同窓会はとても意義深い。これからもぜひ継続したいのでよろしくお願ひしたい。」との閉会の挨拶があり、大きな拍手のうちにめでたくお開きとなりました。



～仙台から高橋俊二さんの便り～

新年会の模様、メール写真拝見しました。有難うございました。

やりましたね。

皆さんご満足されたことと想像し、藤田さんのご尽力、ご努力に敬服です。

ご丁寧に編集され、ご苦勞されたこと推察します。私にまでお送りいただき感謝申し上げます。

メンバーの大半がそれこそ八十路前後の方々、いい思い出になり、又貴重なひと時だったのではないかと想像しています。

「ふすま会」のメンバーは、久しぶりに懐かしく拝見しました。

さすがに皆さん年とったね。私がこちらに来て13年経ちましたから、さもありなんかな。成瀬さんもお出席、お元気そうですね。教育の山田郁子さんは、平成8年の同窓会以来、ふすま会のいも煮会にも参加していただき、よく存じています。それに、

山形県人会でも毎年顔を合わせていました又、彼女は当時の札幌市助役の魚住昌也

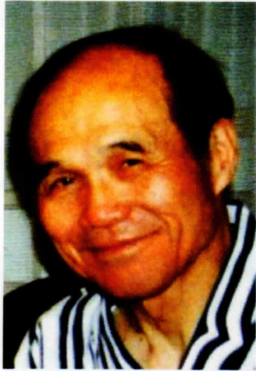
(山形の温海出身)と高校(鶴岡南高)が同級生、よく話し込んでいましたが、彼女はあの通りズケズケ言うから魚住さんも必ず彼女のテーブルに来ては県人会の懇親会の席では、魚住さんは彼女の前ではタジタジだった様子が懐かしく思い出されます。

彼女は昭和13年生まれの36年卒。その同級生3人組が、あの同窓会を機縁に我々のいも煮会にしばらく参加していたのですが、あとの二人というのが五十嵐の奥さんと、堀田松子さんでした。堀田さんは自宅が宮の森で、私と近かったのもよく顔を合わせていました。

それと、特音の星さんは確か平成8年の同窓会ではいろいろご協力頂いた方だったと記憶しています。



追悼 石黒忠夫先輩



享年89歳 昭和5年生れ 平成30年9月23日逝去

略歴

山形県酒田市出身 酒田中学(旧制)から昭和20年海軍兵学校入学、広島で終戦 山高文乙昭和25年卒。この山高には昭和21年に入学し24年卒となるべきところ、軍歴の為GHQの極秘指令により21年入学は叶わなかった。この事は本人にとって生涯唯一度の落第経験となった。GHQだけは、どうしようもなかった、と悔しそうにぶつぶつこぼしていたのを数回聴かされた。その後東北帝大経済学部昭和28年卒、同年北海道銀行入社。定年退職。

さて、石黒先輩は常々、「自分は日本の旧体制下の最良のエリートの道を最後に歩むことが出来た事を誇りに思っている。」と幾度となく、二人で呑み交わした折などにおっしゃっておいりました。小学校(国民学校)4年で終戦を迎え、軍国主義が音を立てて崩れ落ち、やがて月一度位学校にやって来る駐留軍将校・大尉(本国から派遣された教育者で軍服着用)から、民主主義とか自由とか訳の分からないことを教えられ、新憲法下での教育を受けた者としては、同先輩は、何か旧体制下の伝統の中で育った珍しい標本みたいに当初は思えたものでした。

彼の頭の中に、強く明解に刻み込まれた言葉は

ノーブレス オブリージェ

「Noblesse Oblige (仏)」 = 「Nobility Obliges (英)」であった。貴族階級=身分の高いものは立派

に振舞う義務がある。特権は責任を伴う。「一朝事ある時」率先垂範をもって対処すべし。

この言葉は、兵学校の入学式、その後の講義の折にも、くり返しくり返し、英語で叩き込まれたとのことでした。日本国中、横文字追放に躍起になっている、正にそのタイミングの中で海軍は英語で講義を行っていたとのことでした。この事は大変な驚きであると同時に全国から選り抜かれたエリート達の心に大きく新鮮なプライドを目覚めさせるものだったようです。兵学校に校則などという、面倒なものはいっさいなく、唯一言、Noblesse Obligeあるのみ、というのが校則以上の精神だった、とのことでした。

石黒先輩はまた、私は根っからのマルクス・ボーイでもあり、現実社会との対応に便宜上何があろうとも、心の奥底は変わりません、と酔うほどに、目を少年のように輝かせて、言っていたのも今は懐かしい思い出となってしまいました。

また同先輩は、札幌ふすま会の副会長として尽力された事は会員全員の知るところですが、個人的趣味の世界では、特にクラシック音楽とりわけモーツァルトについては素人の域を超えていたようで、モーツァルト愛好会の、音楽のプロも混じっている大聴衆を相手に、何かプロの間でも見解が微妙に分かれる点について普段から思っていることを思い切って主張する大演説をぶったところ、ブーイングがくるかと内心ひやひやしていたにもかかわらず、拍手喝采を博した時があったと自慢していたあの独特な表情は忘れることが出来ません。

さらに、合唱の会での活躍の他にダンスもたしなみ、自宅の蔵書の中には、地元庄内出身で山形師範学校卒の作家藤沢周平の全作品を揃え愛読しておりました。

葬儀の折遺族席に一番近い最前列に立派な生花の花輪が供えられ、堂々と「海軍兵学校第78期会北海道」と記してあったのが印象に残りました。

切にご冥福を祈ります。 合掌

(36年英文・石垣祐輔)

令和元年札幌ふすま会総会のご案内

- ◆日時 令和元年6月22日(土)
13時より
*お食事は準備しております。
- ◆会場 すみれホテル
中央区北1条西2丁目北向き
- ◆会費 年会費 2,000円
懇親会費 4,000円
- ◆申込 5月末日までに出席のご連絡を
電話、FAX、メールでお願いいたします。

- 連絡先
ふすま同窓会事務局
●島田良廣副会長宛
電話、FAX 011-776-4041
- 中本利明幹事長宛
電話、090-2057-6376
- 藤田俊雄会長宛
E-mail: ch12171@sc5. so-net. ne. jp
FAX、011-737-0712
電話、011-737-0710

~~~~~  
新年度の総会は元号が変わり、2020年ふすま同窓会100年記念祭を予定されており何かと慌ただしい総会です。30年度の事業報告、決算報告、役員改選、新年度の事業計画、

~~~~~  
予算案、などと協議事項が色々ございますので是非とも多くの会員のご参加をお待ちしております。

英書研究会令和元年5月～12月

- 05月10日(金) 13時～16時
- 06月14日(金) 13時～16時
- 07月12日(金) 13時～16時
- 08月09日(金) 13時～16時
- 09月13日(金) 13時～16時
- 10月11日(金) 13時～16時
- 11月08日(金) 13時～16時
- 12月13日(金) 13時～16時

石垣君、紺谷君、遠藤君のお三方の頑張りに感謝申し上げます。

編集後記

二期4年の会長職を一期2年延長しホームページの立ち上げにも成功。会報の制作も、意外と自身の力が萎縮している事に思い当たり、さらに自身の身の回りも多くの変化が起きて、80歳で車を廃車、仕事、スキー関係の役員もいっぺんに辞める予定にしておりましたが、全ての問題が解決するのに3年掛かりました。

又、2台のパソコンが修理不能になりましたが、メールだけは、生きています。

会の会長職も来たる5月末で退任します。永いことのご支援、会報のご愛読ありがとうございました。

新しいスタッフで新鮮な会報ができることを期待しております